

工学部長殿

申請日 平成13年10月9日

申請者

所属 土木工学科

職名 主任教授

氏名 増田陳紀

工学部 教員資格審査申請書

標記について、下記の通り申請致しますので、工学部教員資格基準に基づき、別紙の内容について審査方宜しくお願い致します。

記

申請内容	教授 資格審査
対象者	現職名 工学部土木工学科助教授
	氏名 皆川 勝

工学部 教員資格審査 (別紙)

1. 審査資格 職名 教授 [昇格] 発令希望日 平成14年4月1日
 授業科目 応用力学(1)、応用力学演習(1)、構造力学、土木設計演習製図(2)、建設情報ゼミ

2. 審査対象者 現職名 武蔵工業大学工学部土木工学科助教授 氏名 皆川 勝 [46歳]
 学位 工学博士 [昭和63年3月] 大学名 武蔵工業大学

研究 業 績	著 書		学 術 論 文							
			審査あり 学会等の報文		審査なし 学会等の報文		依頼論文		国際会議論文	
	日本語	外国語	日本語	外国語	日本語	外国語	日本語	外国語	日本語	外国語
	0	0	21(10)	6(2)	19(5)	0	5(5)	0	0	13(2)
	学 術 論 文		研 究 発 表				設計作品・計画・特許		その他(分担著書&金誌等)	
	紀 要		予稿あり		予稿なし					
	日本語	外国語	日本語	外国語	日本語	外国語	国内	国外	日本語	外国語
	0	0	73(23)	0	0	0	0	0	10(2)	0

教 歴 21 年 0 ヶ月

学 歴 S54.3.31 武蔵工業大学工学部土木工学科卒業
 S56.3.31 武蔵工業大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了

職 歴 S56.4.1 武蔵工業大学工学部土木工学科助手(H2.3.31)
 H2.4.1 同講師(H5.3.31)
 H3.4.1 米国テキサスA&M大学客員研究員(H4.3.31)
 H5.4.1 武蔵工業大学工学部助教授 現在に至る
 H8.1.1 協定による米国オレゴン工科大学客員助教授(H.8.3.31)

学会歴・社会歴・受賞歴等
 S63.6.1 土木学会構造工学委員会構造力学小委員会委員(H1.5.31)
 H2.6.1 土木学会土木情報システム委員会人工知能小委員会主査(H.7.5.31)
 H7.6.1. 同上情報共有技術小委員会(主査・副委員長・現委員長)
 H11.6.1 同上委員会委員兼幹事
 H5.6.1 鋼橋技術研究会耐震免震研究部会(幹事・副部長H11.5.31)
 H11.6.1 同上耐震設計研究部会副部長
 H9.6.1 日本鋼構造協会年次研究論文報告集編集委員会委員
 H7.6.1. 土木学会論文集第6部門査読委員
 H10.6.1 土木学会構造工学委員会国際標準規定研究小委員会委員(H11.5.31)
 H11.6.1 同上衝撃実験・解析の標準化に関する研究小委員会委員
 H13.8.1 土木学会土木教育委員会情報マネジメント教育小委員会委員

3. 人格・識見 常に情熱あふれる指導で教育研究に邁進し、同時に学科・学内・武蔵工業会・学協会等において各種運営に精力的に活躍している。的確な発言とともに有言実行で行動が伴っており、学生からも後輩・同僚・先輩からも信頼されている。活躍の場も教育研究上では、従来からの伝統的な構造工学に留まらず、建設情報・IT技術の利用の分野にも広がり、全国的な大学人によるアンケート調査でも、所属する分野において現在最もエネルギーのある教育研究者の一人と評価されている。

4. 申請理由 皆川助教授の精力的な活動は、教授としての資格に十分であり、土木工学科から都市基盤工学科への名称変更・カリキュラム変更とともに新たな展開を必要とする本学科にとって、教授としてさらに一層の貢献をしてもらうことが不可欠と判断している。

5. 所属会議での審議内容

資格基準との関係 修士課程修了後20年の教員歴、工学博士の学位取得後13年を経て、講師3年、助教授8年(昇格時)の経験を有し、教育者・研究者としてかつ大学運営の立場からも顕著な業績をあげており、武蔵工業大学工学部教員資格基準第2条(第1項に該当)ならびに同取扱要項第2条関係第1項の規定を満足することを確認した。

審議内容 平成13年9月5日に開催した土木教室内の教授による資格審査会議において、皆川勝氏が本学工学部教授としての資格を有することを全員一致で承認した。

6. 模擬授業
・面接等

提出日 平成13年11月12日

工学部長殿

主査 曾禰 元隆 (印)

審査員 齋藤 裕 (印)

" 安藤 信好 (印)

" 俵 信彦 (印)

工学部 教員資格審査 専門分野審査会結果報告

標記について、 皆川 勝 助教授 の教授資格に関し、審議結果を以下に報告します。

1. 開催日時 平成13年11月8日15:00～15:30

2. 場 所 本館 応接室

3. 審議内容

1) 資格基準との関係

皆川助教授は発令希望日において21年に及ぶ教員歴、工学博士の学位取得後14年、講師3年助教授9年の豊かな教育経験を有し、研究面においても学会活動においても多くの業績を示している。この教育経験と研究業績は教授昇格に関する武蔵工業大学工学部教員資格基準第2条第1項、及び同取扱要項第2条第1項の規定を満足すると判断した。

2) 審議内容

会議に先立ち皆川助教授の研究業績並びに人格識見について報告がなされ、これを基に次の点に対し審議が行われた。

(1) 皆川助教授は本学大学院修士を卒業後 退職された西脇教授指導の下、数多くの研究業績を挙げ、西脇教授の下を離れた後も多くの研究業績を示している。

(2) 修士の教育に大きな成果を示している。

(3) 語学(英語)に優れ積極的に海外との接触を図り、多くの外国語論文を業績として示している。

(4) 学会活動においても顕著な実績を示している。

(5) 本学教授昇格に関する規定を満足している。

以上より判断して、皆川助教授が教授として本学・当該学科の発展に著しく貢献できると確信しこれを了解した。

4. 結 論

以上の審議の結果、本専門分野審査会は全員一致で皆川 勝助教授の教授昇格資格充分有りと判断した。

申請日 平成13年12月6日

工学研究科長 殿

申請者

所 属 土木工学専攻

職 名 専攻主任教授

氏 名 片田敏行



大学院工学研究科 教員資格審査申請書

標記について、下記の通り申請致しますので、大学院工学研究科教員資格基準に基づき、別紙の内容について審査方宜しくお願い致します。

記

申請内容 資格審査

対象者 現職名 助 教 授

氏 名 皆 川 勝

大学院工学研究科 教員資格審査 (別紙)

1. 審査資格 資格名 D(★) 備考 [教授昇格申請中] 認定希望日 平成14年4月1日
 専攻名 土木工学 学科目名 先端構造工学
 授業科目 構造工学特論、ハイブリッド実験特論、応用情報システム特論

2. 審査対象者 現職名 武蔵工業大学工学部土木工学科助教授 氏名 皆川 勝 [46歳]
 学位 工学博士 [昭和63年3月] 大学名 武蔵工業大学

研究業績	著書		学術論文							
			審査あり学会等の報文		審査なし学会等の報文		依頼論文		国際会議論文	
	日本語	外国語	日本語	外国語	日本語	外国語	日本語	外国語	日本語	外国語
	0	0	21(10)	5(2)	19(5)	0	5(5)	0	0	14(2)
	学術論文		研究発表				設計作品・計画		その他(学会報告書など)	
	紀要		予稿あり		予稿なし					
	日本語	外国語	日本語	外国語	日本語	外国語	国内	国外	日本語	外国語
	0	0	73(20)	0	0	0	0	0	14(10)	

教 歴 21 年 0 ヶ月

学 歴 昭和54年3月31日 武蔵工業大学工学部土木工学科卒業
 昭和56年3月31日 武蔵工業大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了

職 歴 昭和54年4月1日 武蔵工業大学工学部土木工学科助手
 平成2年4月1日 同講師
 平成3年4月1日 米国テキサスA&M大学客員研究員(平成4年3月31日)
 平成5年4月1日 武蔵工業大学工学部助教授 現在に至る
 平成8年1月1日 協定による米国オレゴン工科大学客員助教授(平成8年3月31日)

学会歴・社会歴・受賞歴等
 昭和63年6月1日 土木学会構造工学委員会構造力学小委員会委員(平成1年5月31日)
 平成2年6月1日 土木学会土木情報システム委員会人工知能小委員会主査(平成7年5月31日)
 平成7年6月1日 同上情報共有技術小委員会(主査・副委員長・現委員長)
 平成11年6月1日 同上委員会委員兼幹事
 平成5年6月1日 鋼橋技術研究会耐震免震研究部会(幹事・副部会長平成11年5月31日)
 平成11年6月1日 同上耐震設計研究部会副部会長
 平成9年6月1日 日本鋼構造協会年次研究論文報告集編集委員会委員
 平成7年6月1日 土木学会論文集第6部門査読委員
 平成10年6月1日 土木学会構造工学委員会国際標準規定研究小委員会委員(平成11年5月31日)
 平成11年6月1日 同上衝撃実験・解析の標準化に関する研究小委員会委員
 平成13年8月1日 土木学会土木教育委員会情報マネジメント教育小委員会委員

3. 人格・識見 修士課程における研究指導及び学会活動の両面に見られる十分な実績、さらに学内各種委員会委員としての貢献度から博士課程研究指導教員に相応しい人物であり、十分な識見を有していると判断されます。
4. 申請理由 現在、土木工学専攻は都市基盤工学専攻への名称変更に伴い、情報分野の強化は重要な分野と考えております。そのために、設計や施工に当たって不可欠な情報関連の教育と研究の充実が急務となっています。皆川助教授は、この分野での研究業績と学会活動実績を有しているため、土木工学専攻では博士課程教員として十分な研究指導を行えるものと判断しております。
5. 所属会議での審議内容
- 資格基準との関係 大学院工学研究科教員資格基準第3条第1項に該当する。
なお、第3条第2項に関しては、現在教授昇格を申請中です。
- 審議内容 平成13年9月5日開催の土木教授会にて、研究業績及び学会活動等の状況を慎重に審議し、全員一致でD[Ⓢ]の資格認定の申請を承認した。

工学研究科長 殿

提出日 平成14年1月8日

主査 天野 克也
審査員 片田 敏行
" 安藤 信好
" 藤川 英司



大学院工学研究科教員資格審査専門分野審査会結果報告

標記について、皆川勝助教授のD(合)資格に関し、審議結果を以下に報告致します。

1. 開催日時 平成14年1月8日(火) 15時00分～16時00分

2. 場所 1号館3階応接室

3. 審議内容

1) 資格基準との関係

武蔵工業大学大学院工学研究科教員資格基準第3条第1項、同取扱要項第3条関係第1項に適合するかについて審査を行った。

2) 審議内容

工学研究科教員資格審査会(平成13年12月20日開催)資料及び補足資料に基づき、片田敏行教授から皆川勝助教授の経歴、専門分野の研究業績、学会活動、教育実績、人物などの説明があり、それらを確認した上で審査を行った。

4. 結論

上記審議の結果、以下の結論を得た。

(1) 武蔵工業大学大学院工学研究科教員資格基準第3条第1項、同取扱要項第3条関係第1項については、現在皆川勝助教授の教授昇格が内定していることを含め、その基準を満足していることを確認した。

(2) 皆川勝助教授の専門分野は構造工学である。

(3) この分野において、優れた研究業績と学会活動等の実績があると認められる。

(4) 土木工学専攻教授会において全員一致でD(合)の資格があると承認されている。

以上のことから、本専門分野審査会は、皆川勝助教授の工学研究科土木工学専攻におけるD(合)の資格があると全員一致で認めた。